

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井金属鉱業株式会社 竹原製煉所

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市塩町一丁目5番1号

(3) 業種

鉛第2次製錬・精製業(鉛合金製造業を含む) (2321)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度～令和12(2030)年度までの9年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和4年度 (2022)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	93,764	58,134 38.0	75,181 19.8		100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	93,764	58,134 38.0	75,181 19.8		100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	目標達成に向けた削減ができています。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	金属工場 鉛電解電力削減	原油換算削減量58kL/年	ブスバー清掃、ビーム定期更新による単槽電圧削減。 液性状管理強化による液抵抗削減。
2	金属工場 鉛副産蒸気削減	原油換算削減量519kL/年	漏れ蒸気の補修、ドレントラップ強化。 不純物管理強化による熔鑄率改善。
3	薄膜工場 製造2係電力削減	原油換算削減量19kL/年	排風機・スポットクーラーなどの周波数削減、及び稼動時間見直し。
4	電池材料工場 電力削減	原油換算削減量176kL/年	工場屋根への太陽光発電設置。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。